

介護保険

収入

科目	決算額(千円)	第2号たる被保険者 一人当たり額(円)
介護保険料収入	362,617	101,802
繰越金	40,913	11,486
雑収入	1	0
収入合計	403,531	113,288

介護勘定の基礎数値

被保険者数	4,403人
標準報酬月額	361,633円
総標準賞与額	4,516,154千円
保険料率	18.20/1,000

決算残金処分

準備金	62,444千円
繰越金	20,000千円

支出

科目	決算額(千円)	第2号たる被保険者 一人当たり額(円)
介護納付金	321,087	90,142
介護保険料還付金	0	0
支出合計	321,087	90,142

<概要>

- 介護保険第2号被保険者たる被保険者数の増加（前年比+76名）により、介護保険料収入も11百万円増。
- 保険料率は、1.82%にて介護納付金支払いに対応しました。
- 前年度決算残金処分は、全額繰越金として収入計上しました。



保健事業

《注力保健事業》

①歯科健診

ロッテ健康保険組合では、政府の国民皆歯科健診（2025年導入）を見据え、且つ『虫歯のない社会』を標榜するキシリトールガムのメーカーとして、口腔ケアへの意識向上と予防のため、歯科健診を保健事業の上位に位置付け、下記を行ってまいります。

- ①一昨年から実施している歯科医師による歯科健診の事業所拡大
- ②歯科医師の虫歯検査+歯科衛生士による歯周病検査・個別の保健指導のテスト導入
- ③無料歯科健診の受診促進

②健康ウォーキング

スマホアプリを使った健康ウォーキングを引き続き今年も行います。昨年Excelでご参加された方も、今年はぜひスマホアプリでチャレンジしてみてください。今年も参加賞、達成賞をご用意して、皆様のご参加をお待ちしております。

③重症化予防（糖尿病腎症化）

昨年に引き続き重症化予防の観点から、高血糖改善の重要性を広く知っていただくために、糖尿病に関連するHbA1cの値が高めの方を対象に、受診勧奨プログラムを実施いたします。受診勧奨の対象者は、ご自身の健康管理のためにもぜひご参加ください。

《継続保健事業》

- ④主婦健診
- ⑤短期人間ドッグ・脳ドック
- ⑥郵送検査
- ⑦電話健康相談
- ⑧健康ウォーキング
- ⑨インフルエンザ予防接種
- ⑩禁煙プログラム（オンライン・ノンスモ）
- ⑪保健指導（妊婦・乳幼児）
- ⑫保養所補助金
- ⑬家庭常備薬斡旋



一般健康保険

収入

科目	決算額(千円)	被保険者 一人当たり額(円)
健康保険料収入	3,086,485	507,729
調整保険料収入	40,709	6,697
繰越金	109,473	18,008
繰入金	0	0
国庫補助金収入	40,074	6,592
財政調整事業交付金	44,096	7,254
雑収入等	4,292	706
収入合計	3,325,129	546,986
経常収入合計	3,091,172	508,500

一般勘定の基礎数値

被保険者数	6,079人
標準報酬月額	338,122円
総標準賞与額	6,964,531千円
保険料率	100.0/1,000

決算残金処分

準備金	0千円
別途積立金	217,399千円
繰越金	200,000千円
財政調整事業繰越金	63千円

支出

科目	決算額(千円)	被保険者 一人当たり額(円)
事務費	66,831	10,994
保険給付費	1,550,403	255,042
法定給付費	1,516,512	249,467
付加給付費	33,891	5,575
納付金	1,181,943	194,430
前期高齢者納付金	609,926	100,333
後期高齢者支援金	572,016	94,097
病床転換支援金	1	0
退職者給付拠出金	0	0
保健事業費	66,505	10,940
財政調整事業拠出金	40,654	6,688
その他支出	1,331	219
支出合計	2,907,667	478,313
経常支出合計	2,866,937	471,613

経常収支差引額	224,235	36,887
---------	---------	--------

<適用・収入>

- 被保険者数は前年比+46人
- 標準報酬月額が前年比102.1%、総標準賞与額が前年比101.2%となりました。
- 保険料率は9.5%から10.0%へ変更
- 前年度決算残金処分の内、109百万円を繰越金として収入計上しました。

<支出>

- 保険給付費においては、本人・家族とも入院金額が増加。家族は入院外（外来）も増加し、全体としても前年比108.3%で推移しました。
- 保健事業費では、各種健診受診者数が前年比95.3%と減少（令和4年度は前年比111.2%）
- 経常収支差引額は、保険料率改定により224百万円の黒字決算となりました。

一般情勢について

※健康保険連合会「令和6年度 健康保険組合の予算早期集計結果報告より」

健保連発表による令和6年度健保組合（1,379組合）の予算早期集計結果では、経常収支差引額は▲6,578億円の赤字予算となる見通しとなった。赤字幅は前年度比113.5%。組合全体の86.6%（1,194組合）が赤字である。高齢者等拠出金は、団塊の世代が75歳に到達する影響により1,701億円（4.6%）増の3兆8,774億円。主な内訳は、後期高齢者支援金2兆2,769億円（835億円増）、前期高齢者納付金1兆6,003億円（866億円増）などとなっている。平均保険料率は0.05ポイント増の9.32%で、収支均衡

に必要な財源を賄うための実質保険料率（調整保険料率を含む）は0.17ポイント増の10.27%となる見通しである。保険料収入は3,811億円（4.5%）の増加。賃上げ引き上げの追い風・効果を漸次的に反映。一方、保険給付費は2,945億円（6.2%）の増加。4年度-5年度医療費の高い伸びや著しい変動が懸念材料となり、例年に比べ高めの見込み。令和6年度以降、高齢者拠出金が毎年増加するなか、賃金引上げによる保険料収入への効果が予想しがたく、今後の財政影響が懸念される。